

群マネの実施方針(長岡市)

[自治体が抱える課題と群マネ導入で期待する効果]

市の技術職員や地元建設事業者の減少に対し、包括的維持管理業務導入により持続可能な社会インフラの維持管理体制を構築

[実施内容]

(1) 業務のマネジメント戦略

① 対象範囲(インフラ分野×業務プロセス)

業務プロセス インフラ分野		日常維持管理業務		構造物の定期点検関連			
窓口業務	維持作業	計画策定	点検	設計	工事	橋梁	
道路	受付	巡回清掃除草剪定補修	橋梁	橋梁	橋梁	橋梁	
			トンネル	トンネル	トンネル	トンネル	
			道路附属物	道路附属物	道路附属物	道路附属物	
			舗装	舗装	舗装	舗装	
河川	受付	除草・剪定・補修	河川構造物	河川構造物	河川構造物	河川構造物	
公園	受付	除草・剪定・補修	遊具	遊具	遊具	遊具	
下水道			管路施設処理施設ポンプ場	管路施設処理施設ポンプ場	管路施設処理施設ポンプ場	管路施設処理施設ポンプ場	
その他	受付	① 林道・農道等	農道・林道臨港道路	農道・林道臨港道路	農道・林道臨港道路	農道・林道臨港道路	

① H30年度～川口地域(道路以外の多分野を組み合わせて包括的民間委託で管理)

② R1年度～三島、小国地域 ③ R3年度～和島地域

④ R5年度～中之島、越路、与板、寺泊地域 ⑤ R6年度～山古志地域

※道路分野を包括的民間委託で維持管理

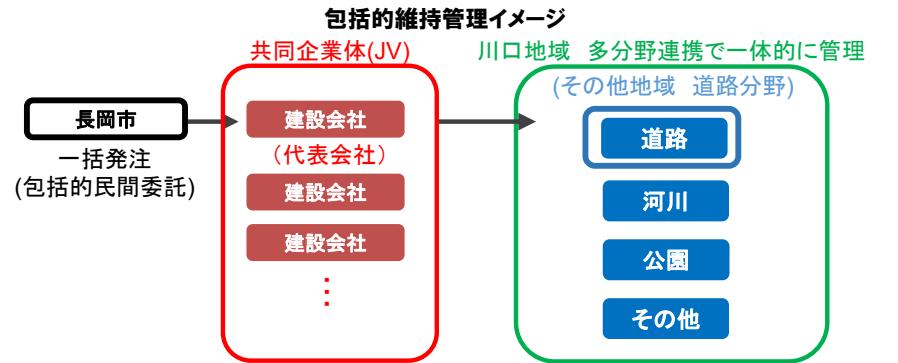
② 発注方式等

契約期間の複数年化 : 無

性能規定の導入 : 有(要求水準書により規定)

(2) 事業者の束

多分野連携スキームの図



・複数の分野を包括化し、複数社で構成するJVに一括発注することで、維持管理を効率化、事業者の工夫による補修などを実現

- 地方自治法上の共同処理制度の適用: 無
- 連携協力道路制度の活用: 無

(3) 技術者連携、データ連携

① 技術者連携の具体メニュー

⇒ 発注者とJVとの意見交換会を行い、業務実施方法の改善や巡視、補修の品質向上を図り、有効な取組方法の共有を実施。(小国地域での実績)

② データ連携の具体メニュー

⇒ 作業指示台帳をエクセル管理し、指示内容と作業完了状況を発注者と受注者でメールを通じて共有している。